

# 家族ケア論

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 最上 玲子 講師		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	4	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

## ・学修方針(講義概要等)

臨地実習を終え、様々な看護体験をしてきた中で、患者のみならず家族に焦点を当てる。家族に関する様々な理論を踏まえ、家族集団のダイナミクスを理解し、家族の発達段階・臨床の場や在宅、地域で出会うさまざまな家族への支援方法について学び、これまで出会った患者・療養者の家族への支援について振り返り考えを深める。

## ・教育成果(アウトカム)

これまで学んできた看護専門領域における患者・療養者への看護・支援には家族支援も含まれていることは学修済みであるが、家族を一つのシステムとして捉え、家族の関係性に言及することができる。また事例を用いて家族への援助方法を学ぶことにより、困っている様々な家族に出会うときに支援ができるための家族へのかかり方、支援方法の基本が理解できる。

### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

## ・到達目標(SBO)

1. 家族の定義・機能・構造について概説できる。
2. 家族看護を支える理論を比較し、それらの特徴を言える。
3. 家族をシステムとしてとらえ、家族介入の基本を概説できる。
4. 入院患者や地域で暮らす療養者等の家族のケアニーズについて、その家族の価値観、住んでいる地域の特徴、文化を踏まえ、アセスメントできる。
5. 入院患者や地域で暮らす療養者等の家族に必要な社会資源を複数挙げるができる。
6. 入院患者や地域で暮らす療養者等の家族のニーズに対応するための援助の基本を説明できる。

## ・授業日程

### 【講義】

会場：マルチメディア教室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
6/7 金 3限	<b>【授業内容】</b> 家族看護とは ・家族の定義を説明できる ・家族全体をとらえる必要性を述べるができる ・家族の機能と構造を述べるができる ・家族看護の定義を説明できる <b>【関連するSBO】</b> 1 <b>【事前学修:60分】</b> 看護学概論で既習の家族について復習する <b>【事後学修:60分】</b> 講義内容をノートに整理する	成育看護学講座 最上 玲子 講師
6/10 月 1限	<b>【授業内容】</b> 家族看護に関わる理論① ・家族発達理論について、各理論の特徴のポイントを述べるができる <b>【関連するSBO】</b> 1、2 <b>【事前学修:60分】</b> 既習の発達理論について復習する <b>【事後学修:60分】</b> 講義内容をノートに整理する	成育看護学講座 最上 玲子 講師

6/14 金 4限	【授業内容】家族看護に関わる理論② ・家族システム理論の特徴のポイントを述べるができる 【関連するSBO】1、2 【事前学修:60分】既習の発達理論について復習する 【事後学修:60分】講義内容をノートに整理する	成育看護学講座 最上 玲子 講師
6/14 金 5限	【授業内容】家族看護に関わる理論③ ・家族ストレス論について、各理論の特徴のポイントを述べるができる 【関連するSBO】1、2 【事前学修:60分】既習のストレス対処について復習する 【事後学修:60分】講義内容をノートに整理する	成育看護学講座 最上 玲子 講師
6/17 月 4限	【授業内容】家族アセスメント ・アセスメントモデルを使って、事例についてアセスメントできる 【関連するSBO】1、2 【事前学修:60分】事例を熟読し、発達理論、システム理論、ストレス理論を適用してノートに整理する 【事後学修:60分】講義内容をノートに整理する	成育看護学講座 最上 玲子 講師
6/27 木 4限	【授業内容】家族看護過程 ・家族看護過程の特徴を、既習の看護過程と比較して述べるができる ・事例について、看護過程を展開できる 【関連するSBO】1、2 【事前学修:60分】事例を家族アセスメントモデルを用いてアセスメントし、ノートに整理する 【事後学修:180分】講義内容をノートに整理する	成育看護学講座 最上 玲子 講師
6/28 金 1限	【授業内容】揺れ動く家族への支援のありよう① ・選択した事例について看護職の家族支援について説明する ・家族看護についての自分の考えを述べるができる考えを深めることができる ・グループ内で事例に対する看護について意見を交換できる 【関連するSBO】1、2、3、4、5、6 【事前学修:120分】家族看護に関する理論を、選択した事例に当てはめノートに整理する 【事後学修:180分】事例に関する看護についてグループ内の意見を調整し、発表準備をする	成育看護学講座 最上 玲子 講師
7/3 水 1限	【授業内容】揺れ動く家族への支援のありよう② ・選択した事例について看護職の家族支援についてまとめ、グループで発表する ・家族看護についての自分の考えを述べるができる考えを深めることができる 【関連するSBO】1、2、3、4、5、6 【事前学修:180分】提示事例の看護について検討する(発表準備を含む) 【事後学修:420分】他グループの発表に関する自分の考えを整理する。選択した事例の看護についてレポートを作成する。試験に向けた学習を含む	成育看護学講座 最上 玲子 講師

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	看護テキストNICE 家族看護学 臨床場面と事例から考える 改訂第3版	山崎あけみ・原礼子	南江堂	2022
参	家族看護学 第2版	小島操子	中央法規出版	2007
推	系統看護学講座 別巻 家族看護学 第2版	上別府圭子	医学書院	2024

・成績評価方法

【総括的評価】筆記試験70%、課題レポート30%により総合的に行う 【形式的評価】グループワークの進行状況、発表内容から学生の考察状況を確認する
---

・特記事項・その他

<p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 講義の中に適宜学生間でのディスカッションを取り入れながら授業を行う。また授業に関する質問等はレスポンスカード(WebClass)で確認し、全体に伝えるべき内容は次の授業で話題とする課題について全体に共通する解説はWebClassで公表するとともに、WebClassを通じて個別にコメントする。</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):統合分野 看護の統合と実践 保健師(別表1):公衆衛生看護学 個人・家族・集団・組織の支援</p>
---

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(EPSON EB-L610WVPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ(ELMO PX-10)	1	講義用資料投影